

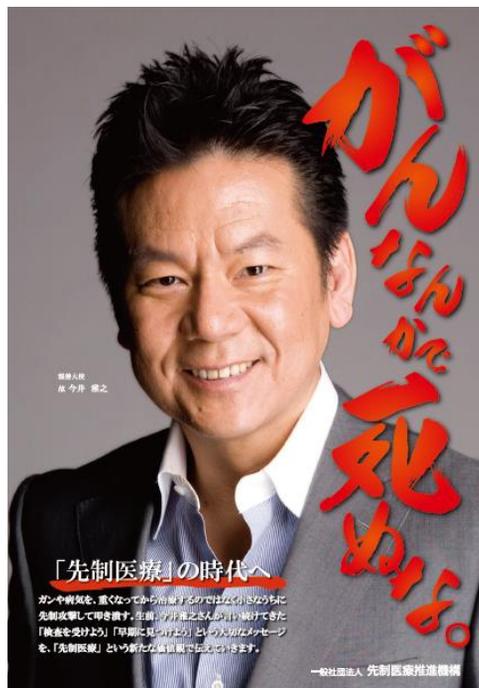
先制医療で「未病」を防ぐ、『未然』に防ぐ 一般社団法人 先制医療推進機構 設立のお知らせ ～当法人の親善大使に故・今井雅之氏就任～

一般社団法人先制医療推進機構(本社:東京都 港区、理事:久米慶)は、先制医療を普及させることで、未病の段階の人の発病を未然に防ぐ又は重篤化するのを防ぐことを目的とし、2018年4月24日に設立いたしました。

先進国の中でも検診受診率が低く、実際のがん死亡率も年々増加しており、2人に1人が生涯でがんになるといわれている時代。先制医療を普及させることで、高齢化に伴い高騰する医療費・介護費の抑制に挑み、治療成績の向上や健康寿命の延長を目指していきます。

この度、奥様並びに各関係者様にもご快諾頂き、生前、早期発見の大切さを提唱されていた今井雅之さんを同法人の親善大使としてお迎えいたしました。

当法人を通じて、より多くの方に検診の必要性や早期発見の大切さを知っていただく活動を行ってまいります。



【このメッセージにこめた想い】

2015年5月28日54歳という若さで惜しまれつつこの世を去った今井雅之さん。

『生きて、生きて、生きまくれ。生きようよ』とは、今井雅之さんが生前、出演されたTV番組にて次回作の映画テーマとして掲げたメッセージです。多くの人に愛され、「生きる」ことに常に前向きなメッセージを伝え続けた今井さんの言葉を当法人でも発信し続けてまいります。

※このポスターは全国の医療機関及び研究機関での設置を予定しております。



PMPPO

【今井協子様(今井雅之氏奥様)コメント】

今井が亡くなり、早3年経とうとしています。当時を思い出すと、公演中であった舞台に立ちたい、映画の完成を見とどけたいという一心で、病と闘っていた今井の姿ばかりが思い出されます。今井は、どんなにつらくても涙をみせることはありませんでしたが、痛みや不安で苦しかったと思います。亡くなる直前まで、テレビに出演させていただいておりました。世間の皆さまに「早期発見の大切さ」「がん検診に行ってほしい」と伝えたかったからだと思います。今井が最後まで伝えたかったことを、もっと多くの方にお伝えできる機会だと思い、このたび今井雅之を親善大使に任命いただけたことに感謝いたします。一人でも多くの方が、がんで亡くなることの無いよう、心より願っております。

今井 協子

【一般社団法人先制医療推進機構とは】

個人の遺伝子、mRNA、タンパク質、代謝産物、画像等のバイオマーカーを用い、将来起こりやすい病気を疾病の発症前に診断し、予想し、介入するという先制医療の研究、開発、教育及び普及を全面的に支援し、それらの研究、開発及び普及を行って行く医師、医療機関、研究団体、医薬品会社そして一般企業とそれらを全面的に支援しようとする個人及び法人を結び合わせるにより、迅速に質の高い、独創的な研究及び開発の推進を行うことを日本のみならずグローバルに貢献することにより、高齢化に伴い急増する医療費や看護費の抑制、健康寿命の延長を目的とし、その目的に資するための業務を行います。

【活動内容】

1. 先制医療に関する医学的な研究、開発、各種調査及び普及活動の支援
2. 先制医療に必要な医薬品、各種調査薬、検キット等の商品開発、サービスの調査、研究及び開発商品の支援
3. 先制医療の必要性を広く認知させるための政策提言、意見書、要望書の提出、勉強会の開催、広報活動、イベントの開催、基礎及び応用知識の教育事業支援
4. 当法人の目的に賛同し入会した会員に対する交流会、相談窓口の設置及び各種専門家の紹介
5. 先制医療の研究及び開発を行って行く医師、医療機関、製薬会社、研究機関及び一般企業に、それらを全面的に支援しようとする個人及び法人の紹介
6. 先制医療に関する最新の情報サイトから発信、各種メディアを通じての情報発信
7. その他

【法人概要】

名称	一般社団法人 先制医療推進機構 Preemptive Medicine Promotion Organization
機構事務局	〒105-8576 東京都港区海岸1-16-2 INTERCONTINENTAL TOKYO BAY
URL	https://www.pmpo.or.jp
理事	久米慶 島村正顕
法人会員	あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 他
設立	2018年4月